

**製品名: ATG3 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21180**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:3000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:36kD;Observed MW:36kD

**抗原情報**

遺伝子名	ATG3
別名	APG3 APG3L
遺伝子 ID	64422.0
SwissProt ID	Q9NT62
免疫原	ヒト ATG3 の合成ペプチド

**背景**

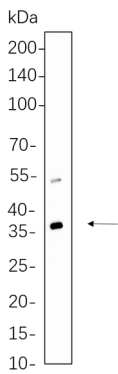
細胞局在: 細胞質。この遺伝子はユビキチン様結合酵素をコードし、真核細胞における細胞質構成物質の分解、ターンオーバー、そしてリサイクルのプロセスであるオートファジーに関与するユビキチン化様システムの構成要素である。このタンパク質は、細胞死

におけるオートファジーの制御に関与することが知られている。この遺伝子の偽遺伝子は 20 番染色体上に位置する。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2013 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



3T3-L1 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、膜を ATG3 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。